

ケアマネ SAPPORO

2020.10.1 発行 第126号

社団法人 札幌市介護支援専門員連絡協議会

発行

〒001-0010

札幌市北区北10条西4丁目1 SCビル2F

TEL 011-792-1811 / FAX 011-792-5140

コロナ禍の現場の現状(通常型)	I	生活を豊かにする福祉用具	IV
コロナ禍の現場の現状(独立型,小規模多機能型)	II	アンガーマネジメントとは?	V
札幌市からのお知らせ	III	コロナに負けない看取り介護	VI
LINE公式アカウント登録のお願い	III	生きるよろこびと明日への希望	VI

【コロナ禍の現場の現状】

令和2年1月豪華客船ダイヤモンドプリンセス号でのクラスターをテレビのニュースでどこか別の国の出来事のように感じていたコロナウイルスが、今や感染拡大と身近に迫る脅威となってしまいました。

私たち介護支援専門員、介護業務従事する皆さんも日頃より、インフルエンザウイルス・ノロウイルスなど感染症の対策を講じてきたとは思いますが、コロナウイルスの感染対策は、今までの対策とは違い、皆様もご苦労されている部分もあるかと思えます。

巻頭では、通常型・独立型・小規模多機能型の各居宅の取り組みを掲載して、参考にさせていただければと思います。

① コロナウイルスによる事業所運営の支障もしくは困難と感じた点

② 感染防止の対策として実施していること

③ ケアマネマネジメントの際にコロナウイルスにより弊害となっている点

④ その他(コロナ禍により逆に効率化やいいアイデアなど視点が切り替わったことなど)

上記4つの問いに対して各事業所の介護支援専門員に回答いただいております。

【通常型】 社会医療法人社団 愛心館
相談センター「レイル」 若狭 敬志

①について

当法人は介護老人保健施設プラットホームに併設されている、相談センター「レイル」と愛心メモリアル病院内にある、介護支援ステーションあいしん、2つの事業所を運営しております。相談センター「レイル」についてはケアマネ4名で、介護支援ステーションあいしんは兼務含め2名で運営していますが、実働は1名での運営となっています。

幸いにも、スタッフの感染は起きていませんし、今のところ運営上大きな支障はございませんが、特に人数が少ない事業所については、感染した場合運営そのものが難しくなることが想定されるため、法人内の居宅介護支援事業書の情報共有やサポート体制を現在検討しているところです。

②について

出勤前の検温、マスク着用、PC及び周辺機器と社用車の消毒、利用者宅に入る際の手指消毒、外勤後の手洗い及びうがいなどを日々行っております。

③について

コロナウイルスが発生した通所を利用していた利用者様が濃厚接触者となり、一定期間サービス利用ができなくなりました。その後も事業所変更等の調整をしましたが、保健所から指示があった期間を過ぎても、なかなか受け入れ先が見つからず、苦慮したケースがありました。

別の例では利用者・家族が「受け入れしてくれる施設もないと思うし、自分達も新しい事業所利用しても感染のリスクは変わらない」という意向があり、代替のサービスを希望せず、導入できなかったこともありました。

両者とも、1ヶ月以上の時間の経過により現在は事業所変更ができ、普段どおりの生活に戻ることができました。

また、このご時勢、感染対策としては当然のことと思いますが、利用者様の体調不良による発熱や入退院があった際に、PCR検査が陰性であっても一定期間自宅待機でサービスが利用できなくなる例もあり、お一人では入浴ができない、一人暮らしの方が特に影響を受けたと感じました。

④について

コロナウイルス対策として、併設の訪問看護ステーションやヘルパーステーション等を含め、在宅サービス部門の携帯電話を、フューチャーフォンからスマートフォ